

京都市災害時多言語電話通訳サービスを運用開始！

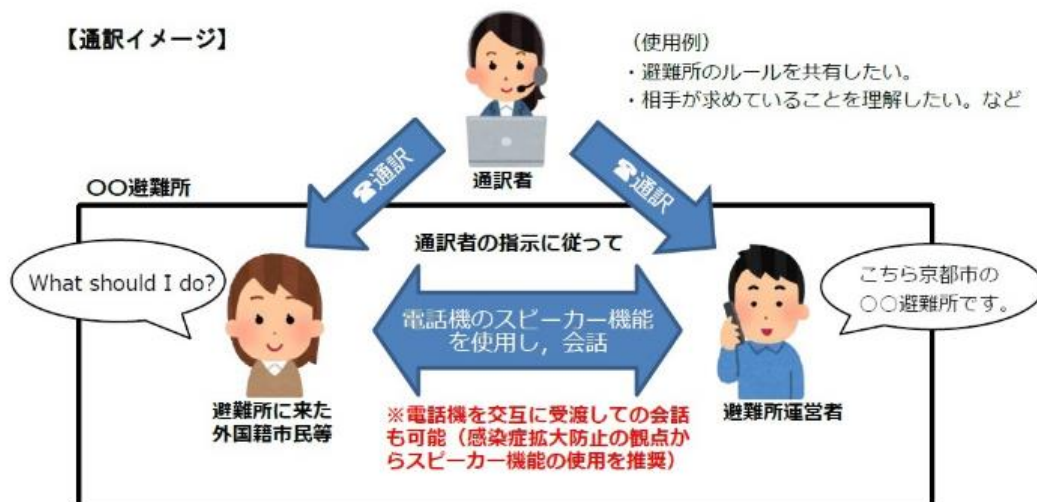
京都市は、令和2年7月15日から、京都市内で災害が起こった際に避難所等において利用できる「京都市災害時多言語電話通訳サービス」の運用を開始しました。

19言語（英語、中国語、韓国・朝鮮語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、マレー語、タガログ語、ネパール語、クメール語、ポルトガル語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、モンゴル語、ミャンマー語、シンハラ語）に対応しています。

利用対象者は、避難所に来所した外国人や避難所を運営する地域の自主防災会、市職員などです。電話先の通訳者を介した3者間通話で、避難所の場所やルールを教えたり、困っていることを聞いたりするなどのコミュニケーションを取ることができます。

サービスは無料で利用でき、避難所等の開設期間中、24時間対応しています。災害時電話通訳サービスの電話番号は、自主防災会や市職員に限定して周知されます。

京都市役所の担当者は、「これまでも通訳サービスは導入していましたが、避難所は多言語対応になっていませんでした。災害が相次いでいるので利用をすすめていきたいです。」と話しています。



(令和2年9月作成)

問い合わせ先

京都市総合企画局国際化推進室

電話：075-222-3072